

活気にあふれ魅力ある職場環境づくりと教頭の役割

～ 教職員の福利厚生、健康に関する諸課題とその解決に向けての取り組み ～

本年度は、上記テーマによる3年の計画研究の最終年である。本年度の研究内容と結果を中心に報告する。

I 研究の内容

3カ年の研究として、まず初年度は教職員対象のアンケート内容を検討したあと調査を実施して、教職員の健康状態やストレス、職場環境、福利厚生制度や諸権利の行使状況等に関する実態をデータとして収集した。2年次である昨年度は、その集計結果の考察や比較・分析を行い、実態把握できた各課題に対して改善方策（教頭としての関与のあり方）を検討した。そして最終年度の今年度は、実態調査を通して明らかとなった課題をもとに、教職員集団が存分にそのもてる能力を発揮できる「職場環境」をつくるため、「諸権利の知識」について教職員向けの啓発を目的としたリーフレットを作成するとともに、職場環境改善のための「教頭としての関与の在り方のまとめ」を作成した。

II 研究結果

1 リーフレットの作成

「教職員の勤務の環境に関するアンケート」からは、健康に不安を抱える教職員が多いこと、職場には満足している教職員が多いが、不満な教職員の理由として人間関係や仕事のやりがいをあげていること、職免やその他・共済等の権利について知らない教職員が多いことなどの課題が見られる。リーフレットは、これらの課題に対応した構成とすることにした。また、諸権利についての知識を単に羅列するのではなく、事例をもとにしたQ & A方式を取り入れ、教職員の興味・関心をできるだけ引くよう心がけた。

1ページ目は、リーフレット作成の経緯や目的及び先のアンケート結果の概要を掲載することにした。2ページ目は、「勤務条件」のタイトルのもと休暇について扱うこととした。3ページ目は、「研修」のタイトルのもと、研修の種類や内容について扱うこととした。最後に4ページ目は、「公務・通勤災害と福利厚生」のタイトルのもと、公務災害や職免について扱うこととした。

今後このリーフレットの配布をきっかけに、教職員が諸権利についての関心を高め知識を深めていくことで、生き生きとした職場環境がつくっていきたいと考えている。

2 教頭としての関与の在り方についてのまとめ

「教職員の勤務の環境に関するアンケート」の結果から見えた課題をもとに4つのタイトルをつくり、これに対応する教頭としての関与の在り方（改善方策）を昨年度作成した改善方策をベースにまとめた。

